

2次元配列（続き）

ここでは、2次元配列を関数の引数として渡すことを考える。渡すものは配列の先頭番地だが、配列の実体は列方向を先に割り当てる1次元のデータなので、渡された側は何列あるのかわからないと2次元配列として扱えない。そこで、受け手は

```
void prarray(int arr[GYO][RETU])
```

あるいは

```
void prarray(int arr[][RETU])
```

のように書く。プログラム例を以下に示す。

```
#include <stdio.h>
#define GYO 3    /* 行 */
#define RETU 2   /* 列 */

void prarray(int arr[GYO][RETU]);

main()
{
    int a[GYO][RETU] = { {1, 2},
                        {3, 4},
                        {5, 6} };

    prarray(a);
}

void prarray(int arr[GYO][RETU])
{
    int i, j;
    for (i = 0; i < GYO; i++) {
        for (j = 0; j < RETU; j++)
            printf("%6d", arr[i][j]);
        printf("\n");
    }
}
```